

EMS GHG plus 筆記試験の構成

1. 基本的な考え方

- (1) 試験構成としては 3 Section。
- (2) 出題形式としては、空欄補充問題、○×問題、選択問題から成る。
- (3) 出題範囲は JRCA 承認基準 JRCA TJ230 IV章で要求している枠組みで、以下を対象とする。
 - ・対象規格 JIS Q 14064-1、JIS Q 14064-3、GHG プロトコル 事業者排出量算定報告基準 (日本語版)、GHG Protocol Scope 2 Guidance An amendment to the GHG Protocol Corporate Standard (日本語版)

2. 試験項目

(1) Section 1: (60 点)

- ・方 式：空欄補充問題、○×問題、選択問題
- ・出 題 数：4 題 (設問数；12 問)
- ・出題範囲：地球温暖化対策の概要、GHG 排出量算定の必要性、排出量の算定・報告に用いられる国際的な基準の概要、GHG 排出量の算定、インベントリの質の管理、GHG 排出量の報告、等
- ・解答方法：(空欄補充問題)；問題文章の空欄部分に、欄外に示した用語から適切なものを選択する。
(○×問題)；出題範囲の問題文について、○×で正誤を記入する。
(選択問題)；出題範囲の設問について最も適切なものを選択する。

(2) Section 2: (20 点)

- ・方 式：選択問題
- ・出 題 数：1 題 (設問数；3 問)
- ・出題範囲：算定に関する問題 (組織境界の設定、活動境界の設定、一次・二次データを用いた算定、電力のロケーション基準・マーケット付属書 1-1 基準、オフセットの取扱い、等)
- ・解答方法：設定されたシナリオを読んで、最も適切な算定結果や判断を 4 肢から選択する。

(3) Section 3: (20 点)

- ・方 式：選択問題
- ・出 題 数：1 題 (設問数；4 問)
- ・出題範囲：検証に関する問題 (GHG 検証の保証水準と計画、算定結果のレビュー及びデータ品質、GHG 報告の完全性及び妥当性確認、排出係数・単位の適切性、等) に関わる検証、等)
- ・解答方法：設定されたシナリオを読んで、検証における指摘や判断として最も適切なものを 4 肢から選択する。

3. 採点の考え方

100 点満点で、総合点 70%以上で合格。